

AQFF2013 実務報告書

1. はじめに
2. 実施概要
3. 観客動員
4. 広報活動
5. 会計報告
6. 当日資料
7. 掲載資料
8. おわりに

AQFF 運営事務局

E-Mail: info@aqff.jp

WebSite: <http://aqff.jp/>

1 : はじめに

●大きな広がりを見せた "AQFF"

2013年5月24日から26日、5月31日から6月2日の6日間に渡り、アジア映画に特化した映画館シネマート六本木にて、第4回アジアクィア映画祭（AQFF）を開催致しました。お陰様で来場者数は前回比133%となる1700名を突破、そして何よりも、今回もプログラム内容に大変ご好評いただき、成功裏に終了することができました。また、今回は読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、ジャパントゥタイムズなどの新聞社を始め各種メディアでご紹介していただき、AQFFの認知度が大幅にアップしたという実感がありました。改めまして、AQFFにご協力いただきましたすべての皆様に、スタッフ一同、心からの御礼を申し上げます。

●プログラム

今回のAQFFは全12プログラム、計27作品を上映致しました。その内、ジャパン・プレミアは23作品、東京プレミアは2作品でした。今回のプログラムを語るうえで特筆すべきは、話題作の多さです。

まず、今回の上映作品の中で最も集客があったのが「Orz ボーイズ」のヤン・ヤーチャ監督の4年ぶりの新作で、「花蓮の夏」のジョセフ・チャン、「モンガに散る」のリディアン・ボーン、「藍色夏恋」のグイ・ルンメイら台湾の人気俳優が集結した感動のドラマ『GF*BF』です。第14回台北電影奨ではジョセフ・チャンが主演男優奨を、第49回金馬奨ではグイ・ルンメイが最優秀主演女優奨を獲得するなど非常に高い評価を獲得していたこの作品は、今年の大阪アジア映画祭で日本初上映され大反響を呼びました。AQFFではその上映に続く東京でのプレミア上映を行い、2回の上映とも立ち見の出る大盛況となりました。

そしてクロージングでは、今アジアで最も才能のあるゲイ監督と言っても過言ではない、イ=ソン・ヒール監督の最新作である中編2作、長編1作から成る3部作を一挙上映（日本初上映）致しました。ゲイであることをカミングアウトした韓国初の映画監督、イ=ソン・ヒールは、韓国のゲイ解放運動の先駆けとなった短編「シュガー・ヒル」や、インディーズ映画としては異例の大ヒットを記録した初長編「後悔なんてしない」（第1回AQFFで日本初上映）などを監督しています。今作は高校教師と生徒の駆け引きを描いた『あの夏、突然に』、兵役中の青年と元指導官との秘密に迫った『南へ』、2011年に起きたホモフォビア暴行事件を元に作られた『白夜』（今年のベルリン国際映画祭で上映）の3話で構成されており、非常に完成度の高い作品でした。このプログラムでは監督のQAも行い、やはり立ち見の出る大盛況となりました。

さらに、ゲイとレズビアンを偽装結婚をコミカルに描いた『2度の結婚式と1度の葬式』、タイのホアヒン国際映画祭で観客奨を獲得した傑作『愛なんていらぬ』、前回のAQFFで大好評だった『ジェリーフィッシュの恋』の続編など、アジア映画ファンの間で早くから話題となり、上映を待ち焦がれていた話題作の数々も日本初上映致しました。

そして今回のプログラムのもう一つの特徴として、韓国作品の充実が挙げられます。先述致しま

したイ=ソン・ヒイル監督の3部作や『2度の結婚式と1度の葬式』の上映に加え、「息もできない」で青龍映画賞新人女優賞など数々の賞を受賞したキム・コッピが出演した名作『マネキンと手錠』や、ソ・ジュンムン監督にスポットを当てたAQFFセレクションプログラムの『REC』や『蛍の光』（AQFF2009に続く再上映）なども大きな感動を呼びました。

また、これら話題作ばかりではなく、ドキュメンタリープログラムや短編集では、まさに“発掘”された知られざる名作の数々を上映し、大変ご好評いただきました。毎回プログラム内容にご好評いただいておりますが、今回は特に賞賛のお声をたくさんいただくことができました。

●上映素材の質の向上

かねてからの課題であった上映素材の質が大幅に向上しました。ハイビジョン化の流れを受け、高画質の素材でブルーレイを制作。美しい映像での上映を実現することができました。

●各国からご来場いただいたゲストの方々

今回はたくさんのゲストにお越しいただき、貴重なトークをお聞かせいただきました。ゲスト登壇プログラムで司会&通訳を担当して下さったのは映画プレゼンターの松下由美さん、韓国語通訳を担当していただいたのはキム・ミョンヒさんです。

【来日ゲストリスト】

- 『秘密のクスリ』Chow Ka Ho 監督と Yeung Tsz Ngo Poppy 監督（香港）
- 『ネイル』Yun Joo Chang 監督（韓国）
- 『私の居場所』Tracy Iansin Choi 監督とアニメーターさん（マカオ）
- 『REC』主演チョ・ヘフンさん、ソン・サムドンさん（韓国）
- 『One Night and Two Days』イ=ソン・ヒイル監督（韓国）

●新たな試み

今回の会場ではチャリティフリーマーケットを行いました。また、来場して下さったお客様のご厚意により、会場内でチャリティアロマテラピーハンドトリートメントを実施することができました。

●残る課題

今回で4回目の開催となりましたが、金銭的な面での厳しい状況は変わりなく、助成金申請や協賛活動は困難を極めました。また、隔年開催という時間の余裕を生かせることができず、今回も宣伝活動に十分な時間を割くことができませんでした。AQFFは少人数のボランティア運営のため、映画祭の規模が大きくなればなるほどスタッフの生活への負担も大きく限界を感じておりますので、その運営方法も含め、課題を克服する方法を模索していきたいと考えております。

2：実施概要

日	程	2013年5月24日～5月26日/5月31日～6月2日（6日間開催）
会	場	シネマート六本木（東京都港区六本木3-8-15）
主	催	AQFF 運営事務局
協	力	松下由美
パンフレットデザイン		松浦秀明
字 幕 制 作		株式会社アウラ
翻 訳 協 力		荒木慎也/石井絹香/内田和世/岡山朋/加納礼子/加藤知恵/岸茉莉/金明姫/ 김유진/如觀洪/高井清子/高木ひろみ/高橋彩/田中薫子/田中美奈/崔樹連/ 蔡七美/中川綾/中田実紀/中村雅美/Beverley Curran/安野美奈子/山口美 奈子/山崎智子/游杰/横手美紀/吉田ひなこ/吉田雅子（50音順）
内 容		『Orz ボーイズ』のヤン・ヤージャ監督の4年ぶりの新作で台湾の人気俳優ジョセフ・チャンやガイ・ルンメイらが出演した『GF*BF』、韓国の若手実力派監督イ=ソン・ヒイルの最新作となる3部作『 One Night and Two Days』など、全12プログラム、計27作品を上映。その内、日本初上映は23作品、東京初上映は2作品。
来 場 ゲ ス ト		『秘密のクスリ』Chow Ka Ho 監督とYeung Tsz Ngo Poppy 監督（香港） /『ネイル』Yun Joo Chang 監督（韓国）/『私の居場所』Tracy Iansin Choi 監督とアニメーターさん（マカオ）/『REC』主演チョ・ヘフンさん、ソン・サムドンさん（韓国）/『One Night and Two Days』イ=ソン・ヒイル 監督（韓国）
運 営 委 員		共同代表：大石夏絹/入美穂 スタッフ：内田佳瑞子

3 : 観客動員

日時	プログラム名	人数	合計	総合計
5月24日(金)	ジェリーフィッシュの恋	25	97	1730
	ドキュメンタリープログラム	13		
	愛なんていない	59		
5月25日(土)	無言	33	282	
	ドキュメンタリープログラム	29		
	短編集 A	31		
	ジェリーフィッシュの恋 2	49		
	GF*BF	140		
5月26日(日)	短編集 A	14	368	
	マネキンと手錠	67		
	2度の結婚式と1度の葬式	136		
	短編集 B	51		
	ソ・ジュンムンプログラム	100		
5月31日(金)	ドキュメンタリープログラム	25	153	
	短編集 A	24		
	2度の結婚式と1度の葬式	104		
6月1日(土)	短編集 B	25	397	
	ジェリーフィッシュの恋	84		
	ジェリーフィッシュの恋 2	109		
	愛なんていない	106		
	無言	73		
6月2日(日)	ソ・ジュンムンプログラム	81	433	
	マネキンと手錠	46		
	GF*BF	155		
	One Night and Two Days	151		

4：広報活動

公式パンフレット	10,000部（B5サイズ、6ページ）
雑誌掲載	キネマ旬報/とことん！韓国ドラマパーフェクトガイド/Badi/G-men
新聞掲載	朝日新聞/ジャパントイムズ/毎日新聞/読売新聞
ラジオ出演	ヨコハマ・ラジアンヌスタイル
インターネット掲載	アジアパラダイス/映画と。/映画の森/シネマコリア/シネマトピックスオンライン/g-ladxx/タイムアウト東京/日韓文化交流カレンダー /2CHOPO/六本木経済新聞ほか（50音順）

5：会計報告

収入	チケット売り上げ	2,529,800
	カンパ	386,130
	その他（原稿料ほか）	8,881
	収入合計	2,924,811
支出	上映料・ゲスト費用・会場費	1,733,686
	上映素材関連費用	565,950
	広報費用（印刷費ほか）	135,099
	その他（通信費・交通費・チケット販売手数料ほか）	482,480
	支出合計	2,917,215
収支	単年度収支	7,596

6：当日資料（一部）

【左：上映作品ポスター/中：会場ロビー/右：劇場内】



【ゲスト登壇の様子】

5月26日（日）19:00

AQFFセレクション-ソ・ジュンムンプログラム

『REC』『螢の光』

左から韓国語通訳のキム・ミョンヒさん、『REC』主演チョ・ヘフンさん、ソン・サムドンさん、司会の松下由美さん。ソン・サムドンさんは2008年の劇場公開作品「昼間から呑む」に出演されているということもあり、多くのファンの方が駆けつけくれました。



6月2日（日）17:05

クロージングプログラム

『One Night and Two Days』

左から韓国語通訳のキム・ミョンヒさん、イ=ソン・ヒイル監督、司会の松下由美さん。日本にもたくさんのファンがいらっしゃるイ=ソン・ヒイル監督。会場にはファンの方からの花束が届くなど、期待度の高さが感じられました。来日当日はイ=ソン・ヒイル監督が運営に携わっている韓国のインデ



ィフォーラム映画祭の真っ最中ということもあり、本来であれば来日は難しかったのですが、監督は一睡もせず AQFFのために1日だけ来日してくれました。

【5月22日 朝日新聞】

銀幕に映る多様な性

アジア各国の同性愛者ら性的少数者の日常の姿を描いた作品を上映する「第4回アジアンクワイ映画祭」が24日から都内で開かれる。いずれもレスビアン(2人の女性が企画)2人は「偏見を持たれやすい私たちが当事者であることを、映画を通じて知ってもらいたい」と話す。

六本木で24日からアジア作品映画祭

入美穂さん(38)と中野区並区は、それぞれ物心ついた時から「女性が好き」という感覚が芽生えた。ただ、「禁断」というか、いけないことだ」と思い悩み、長年誰にも打ち明けられずにいたという。

入さんは、千歳の頃、自分がレスビアンだと近しい人に打ち明けられるようになった。大石さんも、もやもやとした気持ちを結晶させたこともあったが、30歳を前に「普通の暮らしはできない」と親に打ち明け

た。が、「悪い悩んでうつ症状に苦しむ人も多く」と入さんは言う。

1998年(ころ)、同じ境遇の同士の料理やハイキングをする集まりで知り合った2人は、同性愛者の実情を知ってほしいとの思いから、実体験を基にした映画を制作してきた。作品が韓国の映画祭などアジア各地で上映された後で、2007年には初めて日本で映画祭を開いた。「なかなか日の目をみないアジア作品を国内で上映し、映画の作り手を育ててきた」と大石さん。

今回は24日(26日、31日)6月2日に港区の「シネマート六本木」で開催する。ゲイであることを公にした韓国人映画監督の作品や20年以上にわたるゲイの男性3人の恋愛模様を描いた台湾の作品など、日本初上映を多く含む計27作品を集めた。

2人は「映画として純粋に良い作品がそろっているの、なじみのない人も見に来てくれたらうれしい」と訴える。

問い合わせはアジアンクワイ映画祭の事務局(080・4141・6168)へ。(二原孝)

江戸川区・江東区・武蔵野市

5 現職に挑む前・新3人

都議選の予想願ふれ

「同性愛者の実情知って」

悩み続けた女性2人企画

絵画に込めた

作家らに描いてもらう展示会を立案。九州5カ国で開催し、今年

【5月22日 毎日新聞 朝刊都内版】

性的マイノリティー題材

24日からアジアンクワイ映画祭

六本木から

レスビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(出生時の性と違う性のあり方で生きようとする人)といった性的マイノリティーを題材にした映画だけを上映する「アジアンクワイ映画祭」が24日(26日)と31日(6月2日)の計6日間、シネマート六本木(港区六本木3)で開かれる。同種の映画祭でアジア作品だけを上映するのは国内唯一。共同代表の入美穂さん(37)は「日常の中で生きる当事者の姿を見て、自分の周りにもいるかもしれないと気付いてもらいたい」と話している。

入さんと、もう一人の共同代表の大石夏樹さん(46)は、ともにレスビアン。クワイ(Queer)は奇妙な、不思議なという意味の英語で、かつては欧米での性的マイノリティーへの蔑称だった

が、今はそれを逆手にとり「誇りを持って」と入さん。使われているという。

クワイ映画祭は国内各地で開かれていて、2人はアジアの自主制作作品にこだわるとともにレスビアンを題材にした映画を監督した経験があり、2000年ごろからアジア各国の映画祭で自主制作作品に出会い、07年の「One Night and Two Days」など計27作品を上映する。

「日本では、性的マイノリティーに対する表示の差別的な少ないもの(テレビでは(女装)レイトなど)をおネエ」が人気だが、性的マイノリティーへの理解はあまいまままだと大石さん。「誇りを持って生きていく」と映画祭を企画するリン監督(タイ)の「愛なんていらぬや」や、性的マイノリティーへの暴行事件を基に作られた「白夜」など3部作で構成するイ・ソンの「One Night and Two Days」(http://sart.jp/)へ。「日支恵」アラブ大使夫人から福島の団体に寄付した。バザール収益金中東やアフリカ19カ国の大使夫人でつくる「駐日アラブ大使夫人の会」は20日、4月に都内で実施したバザールの収益金計100万円を福島県の福祉団体など3団体に寄付した。同会は毎年「アラブチャリティ・バザール」を開催し、収益を日本国内の福祉団体などに寄付している。今年のはバザールには約4800人が集まり、大使夫人らが各国産の菓子や総菜、工芸品などを特価で販売した。

今年障害者もするの村の匠を無料した。

六藤

スベ

ノ演奏

本直美

●11が

水曜コンサート

【5月14日 読売新聞 夕刊】

◆アジアンクィア映画祭
24～26、31日～6月2日、六本木駅・シネマート六本木。
アジアのレズビアンやゲイ、



バイセクシュアルら「セクシュアル・マイノリティー」を題材にした作品＝写真は「愛なんていない」（タイ）＝を特集。各回1500円。2日の最終回のみ2700円。詳細はホームページ (<http://aqff.jp/>) で。事務局080・4141・6168。

【5月24日ジャパンタイムズ】

fireworks display.

Asian Queer Film Festival to feature works from South Korea, Cambodia

TOKYO
Delilah Romasanta
STAFF WRITER

The LGBT community in Tokyo is hard at work. Not even a month after the Rainbow Pride parade, the biennial Asian Queer Film Festival is set to grace the Cinemart Roppongi this weekend.

Started in 2007, AQFF screens queer films from Asia, hoping to spread awareness and understanding of sexual minorities. The festival's staff are volunteers who feel passionate about the cause. This year's festival takes place over two weekends and spans six days, May 24-26 and May 31-June 1.

This year's edition of AQFF features 12 works from various countries, including South Korea and Cambodia. With feature-length films, shorts and documentaries, the AQFF spans a wide range of styles. There is no need to worry about your "F" grade in Korean class, either; all films are subtitled in English.

The opening program is a feature length film from Thailand titled "It Only Gets Better." The film follows the lives of people representing sexual minorities and their struggle to find acceptance and love. The closing program, "One Night and Two Days," is a trilogy of three short films by Hee-il Leesong who was the first openly gay director in Korean film.

This year the AQFF will also have guest speakers, including Hong Kong directors Yeung Tsz Ngo Poppy and Chow Ka Ho and Korean director Hee-il Leesong.

The Asian Queer Film Festival takes place at Cinemart in Minato-ku, Tokyo, on May 24-26 and May 31-June 1. Film times vary. Advance tickets cost ¥1,300 per film, or ¥2,500 for the closing program (¥1,500, ¥2,700 for same-day tickets). For more information, visit www.aqff.jp.

Lee lives: South Korean director Kim Gwang-soo's film "Two Weddings and a Funeral" will be screened at this year's Asian Queer Film Festival. Kim recently announced he would symbolically marry his long-term partner.

8 : おわりに

●AQFFの存在意義とは

AQFFは、これまでほとんど観る機会がなく、ないものと思われてきたアジアのクィア作品を日本の皆様にも紹介したいという想いで立ち上げました。しかし回を重ねるごとに、未だ厳しい状況下でありながら素晴らしい作品を生み出してくれるアジアのクィア作家達への感謝の気持ちがより強く現れるようになりました。やがて私たちは、彼らの作品を日本に紹介するだけでなく、アジアのクィア映画のショーケース的な役割を担い、作品を発表する場を得るのが難しかった才能あるアジアのクィア作家が世界で活躍するためのお手伝いをしたいと思うようになりました。その意味でも、AQFFの観客のターゲットは当事者のみとせず、広く開かれた映画祭を目指します。私たちは、素晴らしいと思える作品に出会うこと、作品を楽しむ気持ち、それらに垣根はなく、その映画体験こそが、すべての垣根を取り払ってくれるものと信じております。AQFFは、「主にセクシュアル・マイノリティ当事者を対象にした、クィア・コミュニティ内のイベント」として定着するだけではなく、「コアな映画ファンが待ち望む国際映画祭」として定着し、同時に、アジアという身近な環境で制作された作品を通し、アジアのセクシュアル・マイノリティ当事者たちの姿、ライフスタイル、家族や友達、社会との関係の様々なあり方を紹介すること——偏見がまだ残る日本社会に提示していくこと——に大きな意義があると考えています。